

# アグリカレッジ福島

福島県農業総合センター農業短期大学校

## 令和5年度 農業研修

令和5年8月から11月までの農業研修の様子をまとめました！

### 就農研修（初級）秋コース

農業に興味関心があり、就農を検討している方などを対象とした研修会を全5回にわたり、開催しました。幅広い世代の方から、計15名が参加しました。

このコースは、うね立てからは種作業、収穫作業までの一連の作業が体験でき、これらの実習に加え、各回座学形式の講義も実施しました。

講義では、受講者が栽培したホウレンソウ及びダイコン、ハクサイの栽培・生育経過だけでなく、肥料計算や農薬の基礎知識、農業経営（講師：鈴木農場 鈴木光一氏）、農作業安全等について研修を行いました。



うね立て、マルチ



ホウレンソウのは種



ダイコンの収穫



座学（講師 鈴木光一先生）

## 農産加工研修 基礎コース（秋）

農産物の加工・販売を予定している農産加工初心者の方を対象に、加工の基礎を学ぶ全4回の農産加工研修基礎コース（秋）を開催しました。

「営業許可と食品表示」では、食品営業許可、HACCPに関する講義や栄養成分表示作成の演習、「殺菌と包装」では、食品の殺菌方法と農産物6次化に関する補助事業について研修を行いました。

「瓶詰め・袋詰め食品」では、班に分かれてリンゴのコンポートの袋詰めとジャムの瓶詰め実習を行いました。ジャムの瓶詰めは、実験用の瓶を使って温度と糖度を測定しながら、殺菌を行いました。

「事例紹介」では、アグリ工房ひらく代表の大見啓子氏、株式会社フルーツのいとう園代表の伊藤隆徳氏を講師に迎え、加工所設立から加工品販売までの経緯を紹介していただきました。加工所運営の講義は、ユイネクスト株式会社代表の田村俊和氏を講師に迎え、加工事業の準備度セルフチェックから会計の基礎として損益計算書の作成演習を行い、加工所運営の基礎を学びました。



栄養成分表示の作成演習



6次化補助事業の説明



ジャム加工実習



加工所運営の講義

## 農産加工研修 応用コース

農産加工販売者の方を対象に、新たな商品作りを学ぶ農産加工研修応用コースを開催しました。石井農園代表の石井絹江氏が講師を務め、加工所設立から加工品販売までの講義とえごまの加工実習を行いました。

また、県産品加工支援センター職員が食品の殺菌方法について講義を行い、容器包装詰食品を製造する過程で、注意が必要な食中毒菌から殺菌方法までを学びました。



加工所紹介



えごまの加工実習



加工説明



殺菌方法の説明

# 農業機械研修

## コンバインの整備点検

コンバインの基本構造と正しい取り扱いを理解することを目的に、株式会社斗セキ東北を講師に迎え開催しました。講義では「スマート農業」「農作業安全」「コンバインの基礎知識」について学びました。実技では実機を使用し、コンバインのセルフメンテナンスのポイントを学びました。

※令和6年度は、田植機の整備点検に係る研修を2月に実施予定です。



「スマート農業」について



コンバインのセルフメンテナンス

## 大型特殊操作（農耕車限定）

大型特殊免許（農耕車限定）取得に向け、実技では前進後進、車庫入れ時の安全確認方法等の技術習得に取り組みました。また、講義ではトラクタにおける死亡事故の事例と安全対策等について紹介し、農作業安全に係る注意喚起を行いました。

トラクタに乗車したことがない研修生もおられました。福島運転免許センターにおける技能試験に合格することを目標に、本校の運転練習コースで3日間練習しました。



本校練習コースでの練習



福島運転免許センターのコース説明

## 初めての農機整備

初めて農業機械の点検整備に取り組む農業者が、農作業の安全の知識を学び、トラクタ等のセルフメンテナンスのポイントを習得することを目的として開催しました。



トラクタ（11ps）のメンテナンス



歩行型作業機のメンテナンス

## トラクタ操作技術向上

ロータリ耕に係る技術向上を目的に、ヤンマーアグリジャパン株式会社を講師に迎え開催しました。講義では、「農作業安全」及び「耕うんの基礎」等について学びました。また、セルフメンテナンスのポイント及びトラクタと作業機のマッチングについて学びました。実技では水田ほ場でスマート農業対応トラクタで耕うんを体験し、基本操作を習得しました。



トラクタのセルフメンテナンス



自動操舵の体験